

私たちは膨張する宇宙のまっただ中にいる...



HORIZON

宇宙の果てにあるもの

監督:上坂 浩光 出演:小松 英一郎(右沢 俊浩)/ジェフリー・ロウ(阪口 周平)/マキシム・コレスニック(加藤 亮夫)他
音楽:酒井 義久 監修:小松 英一郎 制作・著作:有限会社ライブ ● Live / 五藤光学研究所

2019年11月6日(水)上映 11分58秒 全長 11分58秒 ©ライブ ©五藤光学研究所

プラネタリウムのある科学館
倉敷科学センター

全天周映画 (大型ドーム映像)

上映期間 / 2019年11月6日(水)~

宇宙の果てを追い続けた人たちがいた

私たちは地球上に誕生したその瞬間から、自分たちの知らない世界を知ろうとしてきた。「なぜ？」と思う気持ちは科学を生み出し、宇宙の地平 (HORIZON) を追い求めた。天動説から地動説へ、そして定常宇宙論からビッグバン宇宙論へ。星々を見続けた人々の姿から、宇宙探究の本質に迫ります。

STORY

宇宙は膨張している…ハッブルの発見をもとに宇宙という空間が膨張しているという事実を見出したルメートル。しかしこの学説はまったく受け入れられなかった。しかし38年後、あらゆる方向から届く電波が発見される。それは宇宙背景放射と呼ばれ、宇宙がまだ小さかった頃の名残が138億年の時を経てここに届いているものだった。宇宙の果てを探る人々の想いが、今、実を結ぼうとしていた。

SUPERVISOR 小松英一郎 (マックス・プランク研究所 所長)

宇宙マイクロ波背景放射観測衛星 WMAP のプロジェクトに参画し、主要メンバーとして活躍した。特に宇宙マイクロ波背景放射の観測結果により、宇宙論パラメーターがどの範囲に収まるのかという、現代宇宙論にとって最重要課題の一つである論文を発表する。この論文は、最多引用論文となった。今回の作品では監修だけでなく、自ら出演している。



STAFF

企画・監督・シナリオ：上坂浩光
プロデューサー：田中正明
音楽：酒井義久
監修：小松英一郎

AD：武貴寛
撮影：三好心
照明：江戸 巳喜男
CG：有限会社 ライブ

ジョルジュ・ルメートル

デビッド・ウィルキンソン

アーノ・ペンジアス

エドウィン・ハッブル

フルドームデジタルプラネタリウム映像作品
41分 (ロング版) / 28分 (ショート版)
4K ドームマスター・5.1ch / stereo

LiVE GOTO INC
Creation & Technology

有限会社ライブ 03-5817-1559 / 株式会社五藤光学研究所 042-362-5320

⚠ 上映時間は日によって変わります。最新情報は倉敷科学センターWebサイト、お電話にてご確認願います。

◆開館時間 9:00~17:15

◆全天周映画観覧料 ※幼児は無料(ただし大人の保護者同伴のこと)

◆休館日 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始

おとな500円/高校生350円/こども(小・中学生)250円

ライフパーク倉敷
倉敷科学センター

倉敷市福田町古新田940ライフパーク倉敷内 (福田公園北隣)

TEL (086)454-0300



Web: 検索